


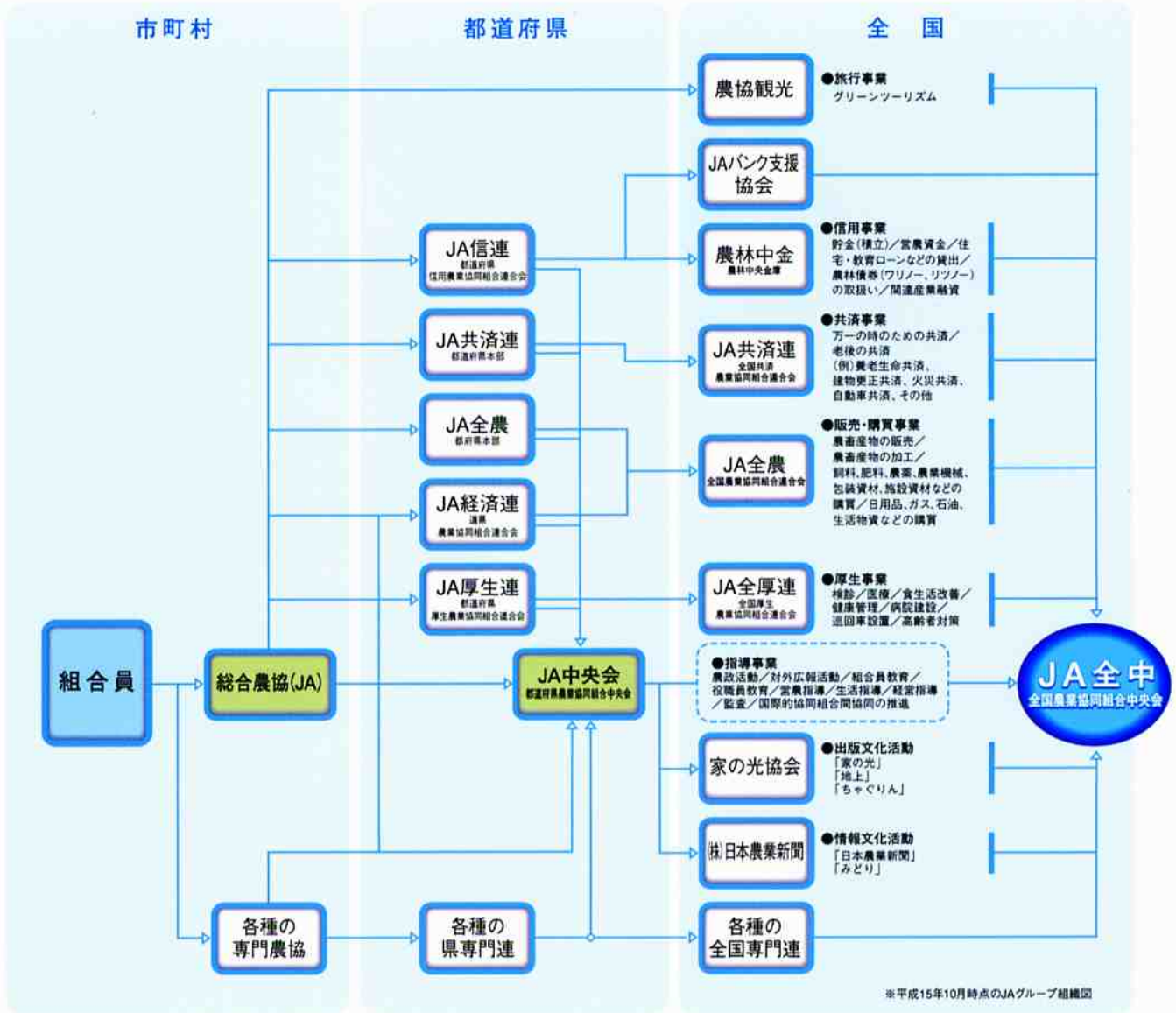
ご あ ん な い





「農」と「共生」の世紀づくり

みんな誰かと支えあい、  
幸せを分かちあいながら暮らしている。  
私たちJAグループは、農業と食料を通して、  
人と人が共に生きる  
豊かな社会をめざしています。



## JAの目的

JA(農協)は農協法にもとづく農業者が互いに協同し生活と生産を守り向上をめざす農業者の組織です。昭和22年制定の農協法

の目的は、農業者の協同組織の発展により農業生産力の増進と、社会的にも経済的にも農業者の地位を向上させ、さらに国民経済

の発展を図ることにあります。JAは、組織運動を通して、社会全体の発展に重要な役割を果たしてきています。

## JAの事業

JAは、その目的を実現するために、いろいろな事業を営んでいます。販売事業、購買事業、信用事業、共済事業、厚生事業、利用事業がその主なものです。これらの事業を目的に、そして、効果的に展開するために、指導事業や教育活動、さらに農政活動も行っています。

これらの事業は、それぞれの組合ごとに単独で行っていたのでは、十分な効果を上げられないことから、より広い地域を事業区域とするJA連合会(都道府県連合会)をつくり、その連合会・組合が会員となって、JA全国連(全国連合会)をつくって、組織運動によ

り事業効率を高め、協同の有利性を発揮しています。また、今日では、さらに合併をすすめ、JAの機能・体制を整備するとともに、事業毎に連合組織を再編しています。

協同組合の精神で各組織を結ぶ。これが、JAグループです。



自然はいつも力強い。  
 私たちは自然を相手に  
 人の快適な暮らしを  
 考えています。

フレキシブルに対応する能力をもった自然の力。  
 農業を通して学んだこれらの知恵の蓄積は、  
 人におのずと明確な一步を踏み出させます。  
 私たちは具体的な展望のもとに、  
 行動を重ねていきます。

#### 中央会の目的と組織

中央会は、JA中央会(都道府県農業協同組合中央会)とJA全中(全国農業協同組合中央会)があり、JAの健全な発達をはかることを目的としています。  
 JA中央会は、県下の単位JA、連合会を会員として会員の組織および事業の指導、

監査、教育などの事業活動を行うほか、行政庁への建議を行う機能を持っています。  
 JA全中は、JA中央会とその会員ならびに全国連等を会員として組織され、JAグループ全体を指導するとともに、JAグループを代表する役割を果たしています。

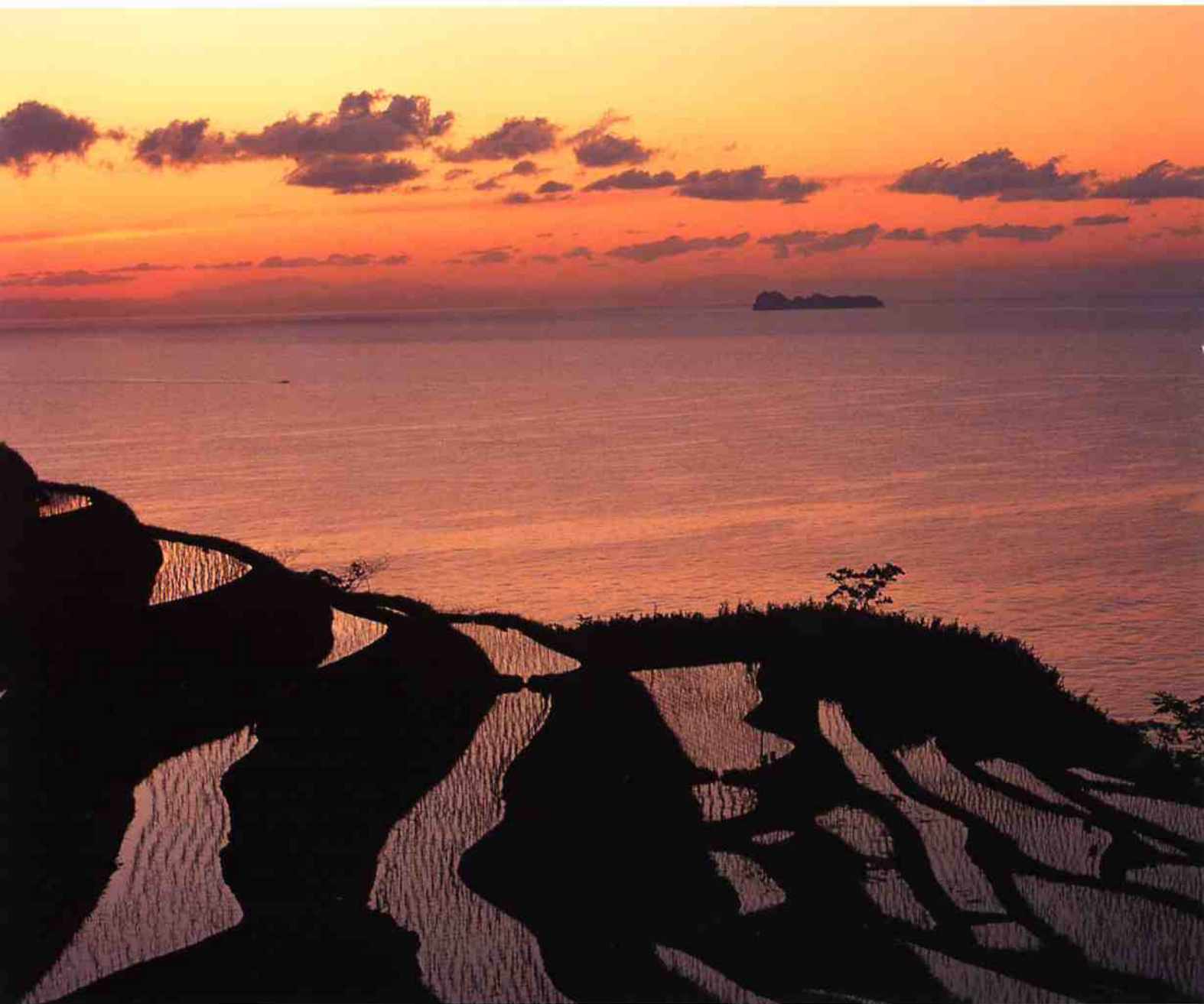
#### 中央会の運営と性格

JAの育成指導をはじめ、JAに関する事項について行政庁に建議する機能を持つ中央会は、会員如何にかかわらず、JAグループ全体を見守り、適正に指導することを法的に義務づけられており、JAグループのリーダー的な役割を發揮しています。また、中央会は営利を目的とした経営活動は行わない、公益的な性格をもつ非営利法人で、その運営経費は会員の賦課金によってまかなわれています。

#### 中央会の事業

① JAの組織、事業および経営の指導  
 ② JAの監査  
 ③ JAに関する教育および情報の提供  
 ④ JAの連絡および組合に関する紛争の調停  
 ⑤ JAに関する調査および研究  
 ⑥ その他、目的を達成するために必要な事業  
 ⑦ JAに関する事項について行政庁に対する建議  
 以上のほか、中央会の事業は広く農業・農業者のすべての問題におよぶものとされています。

JA中央会はJAグループ全体の  
 健全な育成と発達を願い見守り続けています。



先人の知恵。  
そしてすばらしい  
明日のために。

小さな石が巨大な地球を構成するように、  
一人ひとりの意見が、農業の明日を作ります。

それはエネルギーです。

理想という名のもとに、開花する人びとの希望です。  
歴史によって試みられ、進化した協同組合という組織を通じて  
私たちは、目標に向かって進んでいます。

### JA全中のあらまし

JA全中は、わが国JAグループの総合指導機関として位置づけられており、その役割は「全国の農業協同組合及び農業協同組合連合会の運営に関する共通の方針を確立してその普及徹底につとめ、もって組合の健全な発達を図る」と定款に定めています。

正会員のなかから選出された代議員によって、構成される総会が、最高意志決定機関として位置付けられ、総会のもとに業務執行機関として、理事会が設置されています。JA全中は、JAグループの総合指導機関として、その使命・役割を果たすためにさまざまな事業活動を行っています。

### JA全中の運営

現在、農政活動、営農指導、広報活動、地域振興、生活活動とくに高齢者福祉活動、青年・女性の活動支援、JAグループの組織対策、経営指導、情報システム対策、監査などに取り組んでいます。そのほかに、JA中央会への指導や連絡に関する事業を行うとともに、組合員、役職員に対す

る教育活動を実施しています。また国際協同組合同盟（ICA）や国際農業生産者連盟（IFAP）に加入し、国際的な協同組合運動にも参画するとともに国際協力にも貢献しています。その柱となる基本的な方針は、三年に一度開催されるJA全国大会で決議されます。

JA全中は農業の理想を追求しています





地球に優しい、人間にやさしいそんな農業をめざしています。

プロフェッショナルの誇りと  
豊かな自然が  
日本農業の支えです。

収穫はまず、生産者のよろこび。

実りにこめられた、長い年月と技術の積み重ね。

汗が、労力が、その一瞬にむくわれます。

多くの食卓に、その幸福を送った時、全ての人びとの  
よろこびにふくらみます。



JAグループは生産現場から消費者のすぐ近くまで、生産から加工、流通にかかわるいろいろな仕事をしています。農家組合員の営農と生活を支える役割を担い、そして、地域社会の中で、子供からお年寄りまで多くの人びとの役に立つ仕事をしています。







未来を決めるのは、今のわたしたちの理性です。

若さのあふれた精神です。

既成概念を破る独創的な行為は、芸術活動ににています。

クリエイションという仕事。

農業のなかにもその思考は求められています。



### JA全国教育センター（中央協同組合学園）

#### 沿革

中央協同組合学園（本科3年制）は、昭和44年9月、JA運動の中核になる人材を養成するために開校しました。

平成11年4月からは、JA全国教育センターとしてリニューアルし、1年間の“JA版ビジネススクール”としてJA経営マスターコースを開設し、組合員・地域社会からJAに課せられた使命を実現するために、激変する環境変化に対応し、改革・創造に果敢に挑戦する協同組合人づくりを教育目標として、取り組んでいます。

#### ●施設

中央線高尾駅から、町田街道に沿って南東に4km。多摩丘陵から高尾山に連なる緑豊かな自然環境の中にあります。教室・研究室・図書館などを備えた本館に、大小の研修用教室、グラウンド、体育館、食堂、専用宿舎、研修生宿舎、クラブハウスを併設しています。



#### JA経営マスターコースⅠ

JAの自己責任経営体制の確立を担う「基幹的人材」として総合企画部門スタッフを育成するためのコースです。

本コースでは、総合企画業務を担当する人材に必要な①ビジョン・戦略立案機能、②システム設計・実行過程支援機能、③組織化機能を発揮するための基礎的な能力等を修得します。

#### JA経営マスターコースⅡ

JAの自己責任経営体制の確立を担う「基幹的人材」として経営者層を補佐する幹部職員を育成するためのコースです。

本コースでは、経営者層を補佐する幹部職員に必要な①経営環境の把握、②経営戦略、③マーケティング等についてケースメソッドを中心とした実践型研修により修得します。

#### JA経営マスターコースⅢ

JAの自己責任経営体制を担う「経営者層のトップマネジメント機能の強化を目的としたコースです。

本コースでは、JAにおける事業改革能力の向上に重点を置き①環境変化に対応する手法の学習②自JAの事業を革新する能力向上③課題解決の手法等を事例研究を中心として修得します。

### お米ギャラリー

米について広く国民に理解してもらうための情報発信地としての機能を担うため、東京・銀座、東京駅、大阪・心斎橋、福岡・天神の4カ所に開設しています。産地と消費者を結ぶコミュニケーションの場として多くの人たちに利用されています。



### 協同組合図書資料センター

昭和54年4月、農協法公布30周年を記念して、中央協同組合学園の敷地内に建設されました。JAだけでなく広く協同組合に資料の収集と整理、永続的な保管管理、所蔵資料・刊行資料の寄贈、寄託の受け入れと促進、情報の提供等をおこなっています。さらに協同組合関係の各団体資料室との相互協力により充実した収集に努めています。



農業の明日を担う、若きクリエイティブな人材を育成します。



 JA全中  
全国農業協同組合中央会

〒100-0004 東京都千代田区大手町1丁目8番3号  
TEL.03-3245-7500 FAX.03-5255-7356  
<http://www.zenchu-ja.org/>